

親子300名が森に親しんだ
「森へ親子でどげえねえ。新緑のつどいin対馬」



フルートの伴奏に合わせて合唱する子どもたち
森のミニコンサートにて



ドリルを使ってしいたけのほだ木にで穴を開ける子ども



ゲンカイツツジを記念植樹



バームクーヘン作りに挑戦する参加者



森を題材にした楽しい紙芝居もありました。



紫に染まる菖蒲しょうぶの花（6月7日グリーンパークで撮影）

美津島総合公園（グリーンパーク）の池の周りにたくさんの菖蒲の花が咲いていました。紫と白のとても美しい花です。来年はこの時期にあわせて家族でお出かけになってはいかがでしょうか？

次

世代を担う子どもたちが対馬の森林に親しみながら緑の大切さを学び、豊かな活力のある美しい郷土づくりに参加する心を育もうと、6月5日、あそびパークで『森へ親子でどげえねえ。新緑のつどいin対馬』が開催され、子どもや家族づれなど約300名が参加しました。参加者たちは、用意されたゲンカイツツジの苗木75本を記念植樹したあと、各グループに分かれ、森林散策やしい

たけの植菌作業等を体験する林業ミニ体験、竹とんぼやアクセサリーを作る木工教室などに参加し、自然を感じながら、森の恵みを肌で感じていました。また、午後からは竹を使ったバームクーヘン作りに挑戦。親子で協力しながら作った生地を竹に塗り、火であぶりながらぐるぐる回して何層にも重ね、直径約20cm、長さ約40cmのバームクーヘンを焼きました。

子どもたちは自分たちで作ったバームクーヘンを「おいしい」と笑顔をほころばせながら、頬張っていました。プログラムの最後には、2人のフルーティストによる森のミニコンサートが催され、童謡や歌謡曲、モーツァルトなどの名曲が演奏されました。会場にはフルートとオカリナの音色が心地よく響きわたり、詰めかけた観客たちは静かに耳を傾けていました。